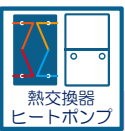




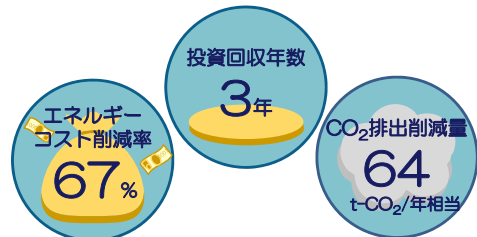
# 熱川バナナワニ園



## 概要

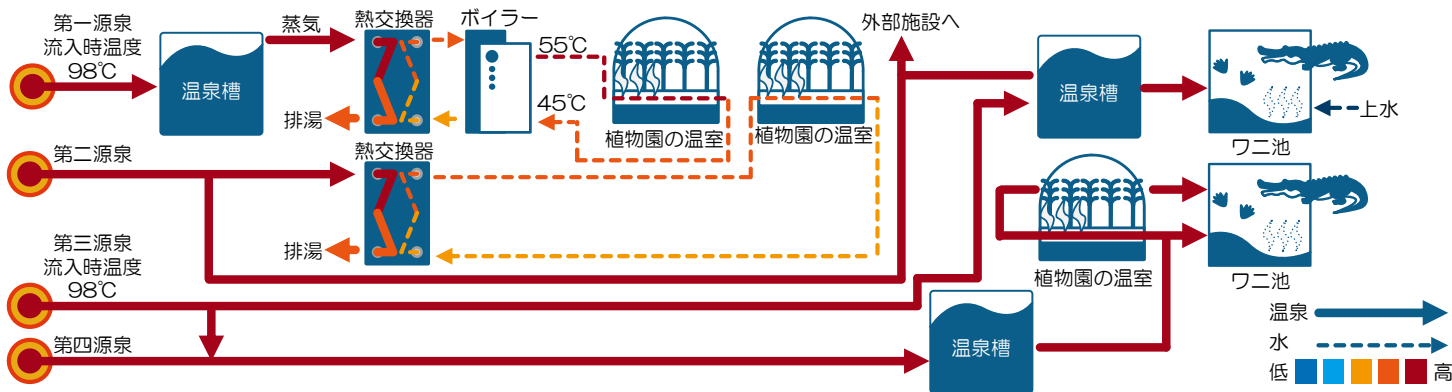
温泉タンクに貯留、熱交換器を介しボイラーで昇温した温水（第1源泉）や、蒸気（第2源泉）を植物園の温室内にある配管に通し、これらの配管からの放熱により暖房を行っている。また、第3源泉を温泉タンクに貯留、調整池にて水と混合しワニ池保温に利用している。第4源泉は、温泉タンクに貯留、ボイラーを介し温室の暖房を行い、温度の下がった温泉や源泉を利用してワニ池保温を行っている。

所在地	静岡県賀茂郡東伊豆町
泉質	硫黄泉、塩化物泉
温泉温度	98℃
利用温度	98℃
利用温泉	既存温泉
供用開始	S33.9
総事業費	500万円（補助金なし）



※エネルギーコスト削減効果、CO<sub>2</sub>排出量削減効果、投資回収年数は、ヒアリング結果を基に算出した推定値（重油使用量削減による効果）

## 主な温泉熱利用方法のシステム図



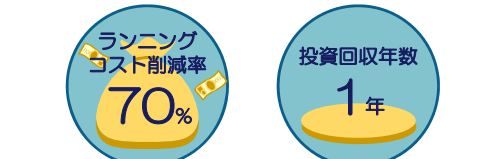
# 雲仙地獄



## 概要

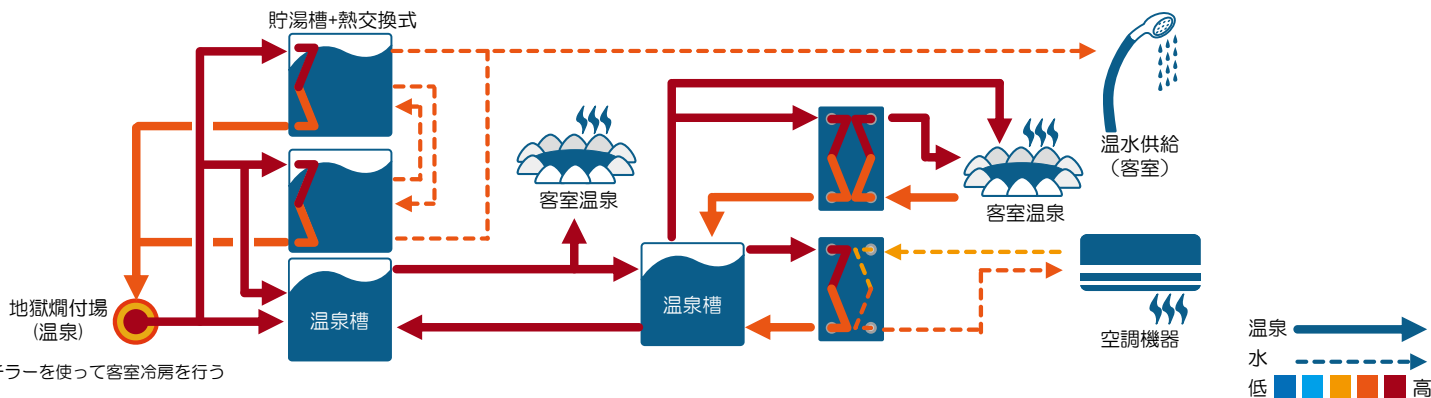
高温の温泉から熱交換器で熱回収を行い、上水加温、旅館の暖房用温水に利用している。さらに、熱交換後の温泉は旅館内の各室へ配湯している（雲仙 湯元ホテルの例）。

所在地	長崎県雲仙市小浜町
泉質	硫黄泉
温泉温度	51℃
利用温度	-℃
利用温泉	既存温泉
供用開始	S42~45
総事業費	500万円（補助金なし）



※ランニングコスト削減効果は、ヒアリング先による推定値  
 ※投資回収年数は、ヒアリング結果を基に算出した推定値（重油使用量削減による効果）  
 ※導入前後のエネルギーコストが不明のためCO<sub>2</sub>排出量削減効果算出していません

## 主な温泉熱利用方法のシステム図



※夏季はチラーを使って客室冷房を行う